

人工肛門造設術を受けられる患者様へ

＜予定入院期間 13日間＞ 1枚目(全1枚)

日数	入院日 手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3～14日目
		手術前	手術後			
治療・処置	臍をきれいにします。静脈血栓予防の靴下のサイズを測定します。 人工肛門造設の位置決め・オリエンテーションをします。	必要時腹部を除毛します。	酸素マスク、心電図モニター、フットポンプを装着します。 状態により、血液が溜まらないように腹部に管が入ります。	毎朝、医師の回診時、手術創の状態を確認し、必要時消毒をします。 朝、心電図モニター、フットポンプ、酸素マスクをはずします。		術後4日目以降で腹部の管を抜きます。手術後創の状態を見て必要時抜糸します。 状態を確認しながら退院日を決定します。硬膜外麻酔を抜きます。
薬・点滴	禁食になるため、点滴が始まります。 下剤を内服することがあります。	基本的に内服は中止ですが、必要のある薬がある場合はお知らせします。	硬膜外麻酔が背中から入っています。痛みが強い場合は痛み止めを使用します。 痛みが強いときは、お伝え下さい。		痛み止めの内服・整腸剤の内服が始まります。 	食事摂取状況で、点滴終了となります。 術後3日目：内服の鎮痛剤に変更します。 
検査				朝に採血と朝にレントゲン撮影があります。 		必要に応じて、採血や検査があります。
安静度	制限はありません。	手術室へ行く前に排尿を済ませておいてください。手術室に行く時間になりましたら声をお掛けします。看護師と一緒に手術室まで歩いて入室します。	手術後はベッド上安静になります。寝返りはできます。 	医師指示にて歩行可能です。初回は看護師が付添います。	制限はありません。 	
食事	医師指示にて禁食となります。  禁食中でも水やお茶は飲めます。	禁食です。 飲水に関しては、医師より指示があります。	飲食はできません。うがいのみできます。		医師指示あれば、水分摂取できます。	重湯から食事が始まり、徐々に普通食になっていきます。
清潔	シャワーを浴びてください。 	看護師が声をかけますので朝、シャワーを浴びてください。その後手術着、静脈血栓予防の靴下とT字帯を着用してください。		温タオルで体を拭き、手術着からパジャマに着替えてもらいます。		医師の許可があつてから、シャワー浴が行なえます。 
排泄		手術室入室前にトイレを済ませてください。	手術中より尿を出す管が入っています。		人工肛門の排泄指導します	状態を確認して尿の管を抜きます。その後は歩いてトイレに行ってください。
説明	入院や手術に関して主治医、麻酔科医、手術室看護師から説明があります。	貴重品の管理は、セーフティーボックスをご利用ください。 				退院後の注意点について説明があります。
その他	持参されたお薬の内容や残数を確認します。ネームバンドをつけさせていただきます。	手術室入室前に義歯、コンタクトレンズ、ウィッグ、アクセサリをはずしておいてください。				退院後は便がゆるくなりがちです。油の多い食事は多くとらないようにしてください。

上記と異なる場合はその都度お伝えします